

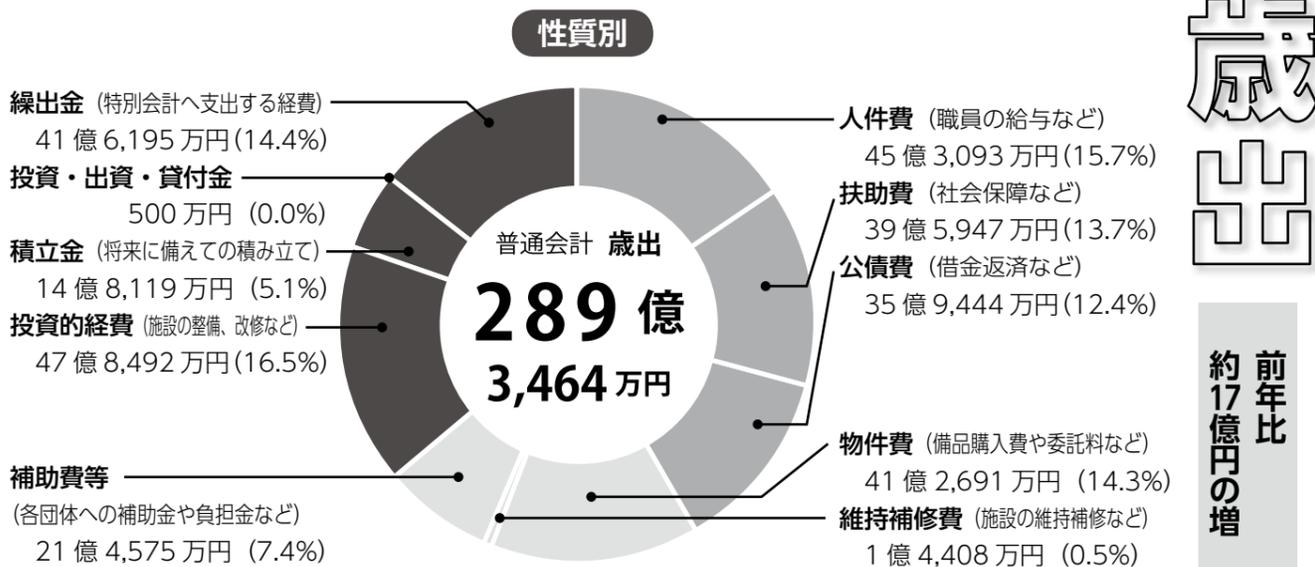
# 平成 26 年度の 決算をお知らせします

平成 26 年度の普通会計の決算規模は、歳入が 299 億 752 万円で、前年度と比べて 16 億 2,613 万円 (5.7%) の増、歳出が 289 億 3,464 万円で、前年度と比べて 17 億 3,481 万円 (6.4%) の増となりました。

財政局課 ☎ (25) 8111



よえもんくん おはよちゃん スリムヤン  
(睡眠教育推進キャラクター)



### 義務的経費 120 億 8,484 万円 (41.8%)

生活保護費などの扶助費が 9.9% の増となったものの、市債の償還額の減少により公債費が 20.6% の減となり、義務的経費全体では 8.3% の減となりました。

### 上記以外の経費 104 億 3,306 万円 (36.0%)

投資的経費は、観光物産プラザの整備のほか、小中学校の大規模改修事業や空調整備事業、台風被害による災害復旧事業などにより 63.9% の増となりました。

### 一般行政経費 64 億 1,674 万円 (22.2%)

物件費は、環境センターのダイオキシン低減対策などにより 30.7% の増、補助費は、ごみ減量対策にかかる生ごみ処理機購入補助の拡充などにより 5.5% の増となり、一般行政経費全体では 19.0% の増となりました。

### どうして歳出が増えたの？

観光物産プラザの整備や小中学校大規模改造事業、台風被害による災害復旧事業の実施などが主な要因です。



### 大きく増加したものは？

商工費が観光物産プラザの整備などにより 101.7% の増、災害復旧費が平成 25 年度 9 月の台風 18 号および平成 26 年 8 月の台風 11 号および台風 12 号の襲来に伴う災害復旧事業により 560.8% の大幅な増となりました。

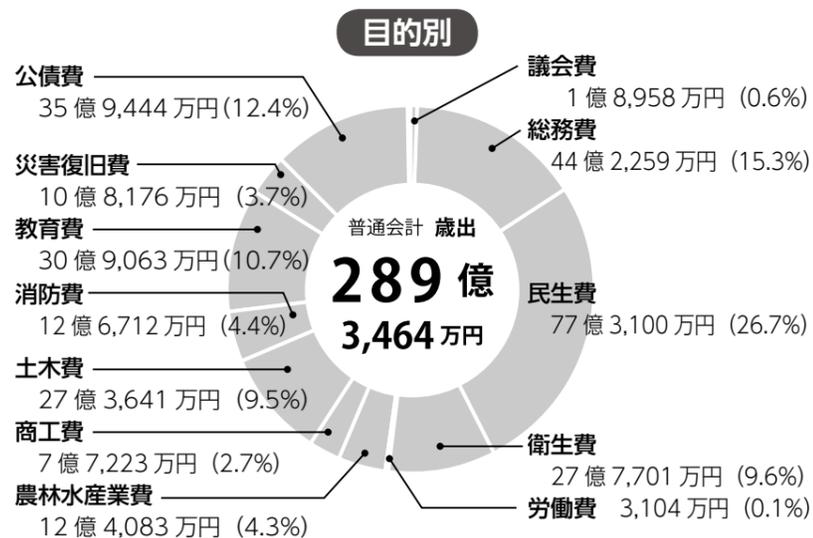
### 大きく減少したものは？

労働費が緊急雇用対策事業の事業費縮小により 40.0% の減、公債費の減少により 20.6% の減、消防費が防災行政無線整備事業の完了などにより 16.7% の減となりました。

### 目的別構成比

割合が高いものは、民生費、総務費、公債費、教育費、衛生費の順です。

※おことわり…表やグラフの金額は、1 万円未満の端数処理をしていないため、合計が一致しない場合があります。



### その他(地方消費税交付金など)

12 億 1,998 万円 (4%)

### 市債

27 億 7,941 万円 (9.3%)

### 県支出金

20 億 2,657 万円 (6.8%)

### 国庫支出金

34 億 7,826 万円 (11.6%)

市税 58 億 1,370 万円 (19.4%)

繰越金・繰入金・諸収入ほか 28 億 7,263 万円 (9.7%)

地方交付税 117 億 1,697 万円 (39.2%)

普通会計 歳入  
**299 億 752 万円**

約16億円の増 前年比

## 歳入

### 自主財源 86 億 8,633 万円 (29.1%)

#### 【市税】

市民税は、個人市民税が 2.3% 減少しましたが、法人市民税が 17.4% 増加しました。

固定資産税は、土地で 0.1%、償却資産で 1.1% 減少しましたが、家屋で 2.2% 増加しました。

市税全体では 0.2% の増となりました。

#### 【繰入金】

後年度負担軽減のため昨年と同様に減債基金から 7,068 万円を取り崩しました。また、コミュニティバス運行経費など、特定目的基金から 3 億 850 万円を取り崩し、繰入金全体では 43.8% の減となりました。

自主財源全体では 4.8% の減となりました。

### 依存財源 212 億 2,119 万円 (70.9%)

地方交付税が 1 億 4,114 万円 (1.2% の減) となりましたが、災害復旧事業や社会資本整備に伴う国・県補助金および投資的事業に伴う市債発行などが増加し、依存財源全体では 10.8% の増となりました。

### どうして歳入が増えたの？

災害復旧事業や社会資本整備に伴う国庫補助金の受入や投資的事業に伴う市債発行の増などによるものです。



## 高島市の財政は大丈夫なの？

高島市の実質収支と連結実質収支は黒字となっています。

しかし、将来負担比率では、県内市町の中でも高い値です。また、実質公債費比率は、前年に比べ改善しましたが、まだ県内平均を上回っています。

このため、引き続き市債の新規発行を抑制するなど、市債残高の削減に努めるとともに、職員数の適正化などにより将来負担経費を抑えながら、将来世代に過度な負担を強いることのないよう努めていきます。

また、平成 27 年度からは地方交付税の段階的縮減が始まり、今後より一層厳しい財政環境が予測されます。このため、有利な制度の活用や、徹底した歳出削減の取り組み、選択と集中による事務事業の見直しなどにより、効率的、効果的で持続可能な財政運営を目指します。

このため、有利な制度の活用や、徹底した歳出削減の取り組み、選択と集中による事務事業の見直しなどにより、効率的、効果的で持続可能な財政運営を目指します。



## 市の職員数と給与額の水準をお知らせします

### 今年度、職員数適正化計画を策定します！

市職員は、「豊かな感性を持って自ら考え行動する自律型職員」を目指し、市民の皆さんの立場にたった心のこもったサービスが提供できるよう、柔軟かつ効率的・効果的な行政運営に取り組んでいます。

#### 【職員の状況】

平成 17 年 1 月の合併以降、事務事業の見直しや施設の見直しによって管理体制のスリム化を図っています。また、重要な施策へ人員を重点的に配置し、限られた職員の能力が十分に発揮できる人事配置を行うことにより、平成 27 年 4 月現在で 1 6 7 人の削減を行いました。(H27.4.1 現在 9 5 9 人、消防・病院等を含む)

合併当初の目標である 1 6 0 人(消防、病院等を除く)の削減は、平成 24 年 4 月に達成していることから、今年度は職員適正化計画を策定し、今後も職員一人ひとりが市民の皆さんの気持ちやニーズを十分に把握し、適切かつ迅速に対応できる組織となるよう、さらに努めてまいります。

#### 【給与額の水準】

平成 26 年 4 月 1 日現在で見ると、高島市一般行政職の給与水準は、国を 1 0 0 とした場合 9 6 . 5 となっています。(市の平均給与月額 3 6 1 , 4 4 4 円)

☎ 人事課 ☎ (25) 8525

## 財政健全化判断比率

### 各指標が県内市町の平均上回る

市の財政状況が良好であるかどうかを示すものの一つに財政健全化判断比率があります。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)	県内市町平均 (H 26)
①実質赤字比率	-	-	-	12.57	20.0	-
②連結実質赤字比率	-	-	-	17.57	30.0	-
③実質公債費比率	14.4	13.4	12.1	25.0	35.0	8.6
④将来負担比率	147.0	113.6	90.7	350.0	-	18.0

※本市は、実質収支および連結実質収支が黒字のため、①と②の比率は算定されません。

#### ●実質公債費比率…

借入金(地方債)の返済額を指標化し、資金繰りの深刻度を示すもの

#### ●将来負担比率…

将来支払っていく可能性のある負債(借金等)の残高を指標化し、将来の財政圧迫の度合いを示すもの

#### ※早期健全化基準

財政が悪化し危なくなったときの警告となる基準。会社に例えると、経営状態があまりよくない会社となる基準。

#### ※財政再生基準

財政悪化のため、国や県の管理のもと財政再建に取り組むことになる基準。会社に例えると、倒産にあたる基準。

## 市債

### 繰上償還と新規発行抑制で約 5 億円減

平成 26 年度末の市債現在高は、前年度に比べ 4 億 9,670 万円減少しました。これは将来世代の負担軽減を図るため 1 億 4,436 万円の市債の繰上償還を行うとともに、本年度における元金償還額以内で新たな市債の発行を抑えたことによります。

また、市債を発行したものは、臨時財政対策債のほか一般単独事業債(合併特例事業)、辺地対策事業債、過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債および災害復旧事業債で、いずれも国からの財源補てん割合が高い有利な借入金です。



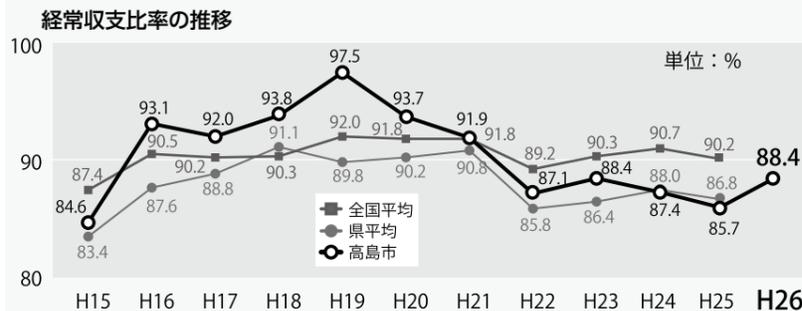
## 経常収支比率

### 経常経費が増加し、前年度より 2.7 ポイント悪化

悪化の理由としては、市税や地方交付税などの経常一般財源が 2,669 万円減少し、扶助費等の社会保障関係経費や人件費などの経常的に支出される経費が 4 億 7,512 万円増加したことによるものです。

#### ●経常収支比率…

人件費や扶助費、公債費など毎年必ず発生する義務的経費が、経常的に収入される一般財源額に占める割合。自治体の財政構造の弾力性を判断する指標の 1 つで、この比率が低いほど自由に使える財源が多いことになり、財政的に余裕があると言えます。一般的に、市町では 75%以下が望ましいとされていますが、全国的にもほとんどの自治体がこの基準を大きく超えている状況が続いています。



## 基金

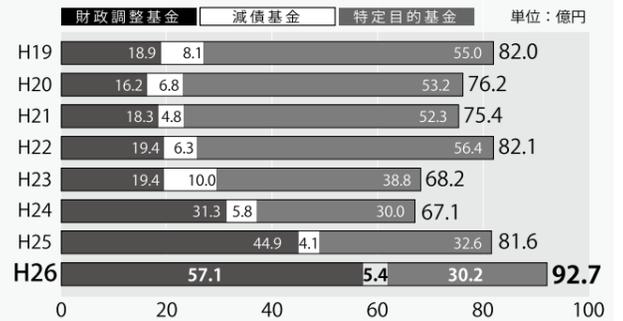
### 繰上償還やバス運行に約 4 億円取り崩し

基金は、後年度負担軽減のための繰上償還に「減債基金」7,068 万円のほか、「地域活性化基金」など 4 基金で 3 億 7,918 万円の取り崩しを行いました。

一方、今後の円滑な財政運営に備えて「財政調整基金」に 12 億 1,779 万円、「減債基金」に 2 億 38 万円を積み立てたほか、「指定管理施設管理基金」に 3,370 万円などをはじめとする、特定目的基金に 6,302 万円の積み立てを行いました。

また、定額運用基金では、利息分の積み立てを行うとともに、国民健康保険財政の将来に向けた安定化を図るため「国民健康保険財政安定化資金貸付基金」に 3 億 59 万円を積み立てました。

#### 基金残高の年度別推移



## 収支

### 財政状況改善へ一歩前進

歳入歳出差引額は、9 億 7,288 万円で、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支も 9 億 1,868 万円の黒字決算となりました。

財政収支は、経常収支比率が前年度に比べ 2.7 ポイント悪化し 88.4%となりましたが、財政健全化判断比率である実質公債費比率は、前年度に比べ 1.3 ポイント改善し 12.1%、将来負担比率は、前年度に比べ 22.9 ポイント改善し 90.7%となりました。





○歳入歳出補正予算

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	266億8,660万円	13億2,850万円	280億1,510万円
特別会計	159億1,230万円	▲133万円	159億1,097万円
事業会計	79億3,757万円	1,183万円	79億4,940万円
<b>予算総計</b>	<b>505億3,647万円</b>	<b>13億3,900万円</b>	<b>518億7,547万円</b>

※1万円未満を四捨五入しています。

○主な事業

地方創生総合推進事業	
	<b>1,000万円</b>
<b>【高島サステイナブル・オフィス事業】</b>	<b>250万円</b>
総合戦略の点検・見直しおよび各プロジェクトの立案と実施・評価において、広く市民と協力しながら課題の達成に向け取り組んでいくマネジメント組織の設置・運営を行います。	
<b>【農畜産業・水産業振興戦略推進事業】</b>	<b>300万円</b>
「食の安全」にこだわってきた本市の食材を活かした産業の振興を図るため、「食」にこだわるアクションプラン」として、農畜産業・水産業振興戦略を策定します。(平成28年3月策定予定)	
<b>【インバウンド誘客促進事業】</b>	<b>450万円</b>
外国人観光客の獲得に向け、本市のさまざまな物産品や観光資源の魅力を活かし、海外マーケットへの積極的な誘致活動を展開し、誘客促進を図ります。 また、外国人向けに多言語パンフレットの作成や観光協会ホームページリニューアルのほか、市内各駅に設置している観光案内看板を多言語表示に書き換えるなど、受入環境の整備をすすめます。	

びわこ高島えんむすび事業

**162万円**

(株)高島屋と事業提携することで、質の高いアイテムを掲載したカタログギフトを作成し、新たな寄付者の獲得とさらなる魅力発信に努めます。

湖西中学校大規模改造事業

**2億7,753万円**

湖西中学校の屋上防水や外壁および各教室等の大規模改造工事を実施し、教育環境の整備を行います。

平成27年度9月補正予算が、9月議会で可決されました。今回の補正予算の概要は次のとおりです。

9月補正予算の概要

財政課

(25)

8111

平成26年度に実施した主な事業

【5つの高島未来政策から】

1 医療・福祉・介護	
・福祉医療事業 社会的弱者への医療費助成	3億2,632万円
・地域高齢者社会参加事業 介護予防「あしたの体操」の普及など	619万円
・地域介護・福祉空間整備事業 地域密着型サービス事業所整備等に助成	4,105万円
2 産業・観光振興	
・地域特産物定着促進事業 特産品の定着を図るため農家等を支援	897万円
・産業連携推進事業 発酵食文化の発信への支援など	540万円
・産業交流センター整備事業 観光物産プラザを整備	2億5,288万円
・観光振興企画運営事業 観光資源を活かしたイベントを助成など	3,817万円
・高島トレイル魅力発信事業	1,263万円
3 防災・環境	
・環境センター管理運営事業 施設維持管理費やダイオキシン対策など	8億4,547万円
・ごみ減量大作戦事業 生ごみ処理機やコンポストの設置補助を拡充	5,210万円
4 教育・文化・スポーツ、子育て支援・女性	
・小中一貫教育推進事業 コーディネーターの配置など	1,275万円
・小中学校空調整備・トイレ改修事業 児童生徒の健康管理および学習環境の向上に	4億9,259万円
・文化的景観保護推進事業 「大溝の水辺景観」重要文化的景観認定のための調査など	650万円
・地域少子化対策強化事業 「たかしま結びと育ちの応援団」を立ち上げ	799万円
・放課後児童健全育成事業 学童保育所を新たに1か所増設など	6,730万円
5 一体感のあるまちづくり	
・湖西線開通40周年記念事業 記念列車の運行や、観光マップ作成など	439万円
・道路台帳整備事業 旧町村ごとの道路台帳を統一的基準で電子化	1億1,880万円

【電源・防衛事業から】

電源立地地域対策交付金事業	
( ) 内は交付金額	
発電用施設周辺地域であることから、文部科学省と経済産業省から交付金を受け、次の事業を実施しました。	
・小中学校英語活動指導員の設置	3,028万円 (2,870万円)
・市道の改良(側溝整備)工事	1,925万円 (1,800万円)
・防犯灯の維持管理	1,167万円 (848万円)
・防災用備蓄物資の整備	689万円 (440万円)
・地域振興イベントの開催	270万円 (224万円)
<b>交付金合計</b>	<b>6,182万円</b>

防衛施設周辺整備事業

防衛施設周辺整備事業	
( ) 内は補助金・交付金額	
饗庭野演習場が所在することから、防衛省から補助金・交付金を受け、次の事業を実施しました。	
・消防指令センターの整備	3億3,480万円 (1億3,191万円)
・公立保育園の運営	1億4,980万円 (1億2,242万円)
・市道の改良	6,258万円 (5,199万円)
・農業用施設の整備	4,189万円 (2,793万円)
・高島市民病院医療機器の整備	2,890万円 (2,600万円)
・子ども医療費の助成	2,972万円 (2,000万円)
・消防ポンプ自動車の更新	2,041万円 (1,700万円)
・普通河川の改修	1,686万円 (1,380万円)
・体育館の運営	1,443万円 (1,200万円)
・学校給食センターの運営	1,335万円 (1,000万円)
・文化ホールの運営	1,148万円 (1,000万円)
<b>補助金・交付金合計</b>	<b>4億4,305万円</b>

🔍 病児保育室「おひさま」をご存知ですか？

★病児保育室とは・・・

お子さんが病気の時、保護者が仕事等の都合により家庭で保育することが困難な場合に、病児保育室でお子さんを一時的に保育するものです。

専任の看護師や保育士が保育しますので、安心してご利用いただけます。

★場所

高島市民病院 健診棟1階  
病児保育室「おひさま」

★利用できるお子さん

市内にお住まいで、保育園・幼稚園児から小学校3年生までのお子さん。  
※市外在住の方も、保護者が高島市で勤務されている場合は利用できます。

★利用時間

月曜日から金曜日までの8時～18時30分  
(土日・祝日は利用できません。)

📍 子育て支援課  
☎ (25) 8136



★利用料

・市内在住者 1人1日につき2,000円  
・市外在住者 1人1日につき4,000円  
※世帯の所得によっては減免制度があります。

★ご利用には事前に登録が必要です

申請用紙等は、病児保育室おひさま、子育て支援課、各保健センターにあります。ぜひご利用ください。

★電話番号(病児保育室専用)

☎ 080(5706)9555



J R 湖西線 40 周年記念列車



環境センター



観光物産プラザ